EPSON
EXCEED YOUR VISION

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

最新改訂版作成日:2013 年 8 月 17 日
ICGR68

1. 製品および企業情報

製品名: エプソンインクカートリッジ ICGR68

会社情報

販売会社 :エプソン販売株式会社
住所 :〒160-8324 東京都新宿区西新宿 6-24-1 西新宿三井ビル 24F
電話番号 :03-5321-4111(代) FAX 番号 :03-5321-4198

製造業者 :セイコーエプソン株式会社
住所 :〒399-0785 長野県塩尻市広丘原新田 80 番地

緊急連絡先番号 :0263-52-2552(月-金, 午前 9 時 - 午後 5 時)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	
引火性液体	区分4
人健康有害性	
急性毒性(経口)	区分外
急性毒性(経皮)	区分外
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	区分外
急性毒性(吸入:粉塵/ミスト)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分外
呼吸器感作性	区分外
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	区分外
発がん性	区分外
生殖毒性	区分1B
特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	分類対象外
特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	分類対象外
吸引性呼吸器有害性	分類対象外
環境有害性	
水生環境急性有害性	区分外
水生環境慢性有害性	区分外

GHSラベル要素

絵表示
注意喚起語 危険
危険有害性情報
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ(H360)

皮膚刺激（H315）
可燃性液体（H227）

注意書き

安全対策

- (P201)　使用前に取扱説明書を入手すること。
- (P202)　すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- (P280)　保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
- (P264)　取扱い後は、手をよく洗うこと。
- (P210)　熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。−禁煙。

応急処置

- (P308+P313)　暴露又は暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けること。
- (P302+P352)　皮膚に付着した場合:多量の水と石鹸で洗うこと。
- (P332+P313)　皮膚刺激が生じた場合:医師の診断/手当てを受けること。
- (P362+P364)　汚染された衣類を脱ぐこと。そして再使用する場合には洗濯をすること。
- (P370+P378)　火災の場合:消火に耐アルコール性泡消火剤を使用すること。

保管

- (P405)　施錠して保管すること。
- (P403+P235)　換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

廃棄

- (P501)　廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別:混合物

溶剤インクの成分表（＊は当社の機密情報のため開示できません）

化学名	含有量 (wt%)	官報公示整理番号 (化審法(1)安衛法(2))	CAS No.(3)
ジエチレングリコールジエチルエーテル	55 − 65	(2)-433	112-36-7
テトラエチレングリコールジメチルエーテル	10 − 20	(7)-1321	143-24-8
γ-ブチロラクトン	< 20	(5)-3337	96-48-0
有機成分＊	1 − 10	−＊	−＊
テトラエチレングリコールモノブチルエーテル	1 − 5	(7)-97	1559-34-8
色材(銅及びその化合物）＊	1 − 5	−＊	−＊

4. 応急処置

吸入した場合　:新鮮な空気の場所に移動させ、安静にしてください。必要なら医師に相談してください。

皮膚に付着した場合　:水と石鹸で洗ってください。炎症の徴候がある場合は、医師の診断を受けてください。

眼に入った場合　:直ちに、室温、低圧、清浄な水で 15 分以上、洗い流してください。目の刺激が続くときには、医師の診断を受けてください。

飲み込んだ場合　:無理に吐かせないこと。気分が悪い時は、医師に連絡してください。
応急措置をする者の保護　:特になし
医師に対する特別注意事項　:なし

5. 火災時の措置

消火剤　:耐アルコール性泡消火剤、粉末、二酸化炭素、水、乾燥砂、強化液
特有の消火方法　:着火した場合は、消火剤または多量の霧状の水を用いて消火してください。消火作業の際には必ず保護具を着用し、風下で作業をしないようにしてください。周辺火災の場合は、可能ならば速やかにインクを安定な場所に移す。移動不可能な場合にはインクおよび周囲に撒水して冷却してください。
消火を行う者の保護　:必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。
引火性　:加熱すると引火します。(9 項の引火点をご覧ください)

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項　:眼にインクが入らないように気をつけてください。手についたインクは水と石鹸でよく洗い流して下さい。
保護具と緊急時措置　:必要に応じて適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用して下さい。
環境に対する注意事項　:下水に流さないでください。
封じ込め及び浄化の方法・機材:風下の人を退避させてください。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止してください。付近の着火源となるものを速やかに取り除いてください。作業の際は必ず保護具を着用し、風下で作業をしないでください。屋内の場合には処理が終るまで充分に換気を行ってください。漏出したｲﾝｸは、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、密栓可能な空容器で出来るだけ回収し、そのあとを多量の水を用いて洗い流してください。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないよう注意してください。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い
- 技術的対策　:通常の取扱いでは必要ありません。
- 局所排気・全体換気:適切な排気・換気を行ってください。
- 注意事項　:眼や皮膚、衣服等にインクが付かないようにして下さい。汚染された衣類を脱ぎ，再使用する場合には洗濯をすること。また、インクを飲まないようにして下さい。インクカートリッジを分解しないでください。インクカートリッジを強く振らないでください。強く振ったり振り回したりすると、インクが漏れることがあります。取扱い場所は火気厳禁とし、作業場は換気を充分に行ってください。
- 接触回避　:通常の取扱いでは必要ありません。

保管
- 保管条件　:施錠して保管すること。インクは、換気良好な冷暗所に保管する。酸化剤または爆発物とは一緒に保管しないで下さい。多量に貯蔵する場合は、消防法および条例に従い、危険物倉庫に保管してください。
- 容器包装材料　:適用外
(本製品は、他の容器包装へ移し変えて保管することを意図されていません。)

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 :

製品	安衛法 管理濃度	日本産業衛生 学会勧告値	ACGIH TLV(4)	OSHA PEL(5)
インクジェットプリンタ用インク	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし

設備対策 :排気・換気装置を設置してください。

保護具

呼吸器の保護具 :プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。必要な場合は、呼吸保護具を使用してください。

手の保護具 :プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。インクに暴露する恐れがある場合は、作業時に保護手袋を着用してください。

眼の保護具 :プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。インクに暴露する恐れがある場合は、作業時に保護眼鏡/保護面を着用してください。

皮膚及び身体の保護具 :プリンタにカートリッジを装着して印刷を行う際には必要としません。インクに暴露する恐れがある場合は、作業時に保護衣/保護手袋/保護面を着用してください。

9. 物理的及び化学的性質

外観(形態、色)	:緑色液体
臭い	:わずかな臭い
pH	:適用しない
融点・凝固点	:有効データなし
沸点、初留点及び沸騰範囲	:有効データなし
引火点	:約 71℃
引火性	:引火性あり
爆発範囲	:1.4～6.9 v/v%(γ-ブチロラクトンとして)
蒸気圧	:有効データなし
蒸気密度	:1 以上 (空気= 1)
比重(密度)	:有効データなし
溶解度	:易溶
n-オクタノール／水分配係数	:有効データなし
蒸発速度	:有効データなし
燃焼性 (固体・ガス)	:適用しない
粘度	:有効データなし
その他のデータ	:なし

10. 安定性及び反応性

安定性	:一般的な貯蔵・取り扱いにおいては安定です。
危険有害反応可能性	:常温では反応性はありません。
避けるべき条件	:一般的な貯蔵・取り扱いにおいてはありません。
混触危険物質	:酸化剤、爆発物
危険有害な分解生成物	:火災時に有毒ガスが発生するかもしれません。

11. 有害性情報

急性経口毒性	:有効なデータはありません。
急性経皮毒性	:有効なデータはありません。
急性吸入毒性	:有効なデータはありません。
皮膚腐食性・刺激性	:有効なデータはありません。
眼に対する重篤な損傷性・刺激性	:有効なデータはありません。
呼吸器または皮膚感作性	:有効なデータはありません。
生殖細胞変異原性	:有効なデータはありません。
生殖毒性	:有効なデータはありません。
特定標的臓器・全身毒性(単回/反復暴露)	:有効なデータはありません。
吸引性呼吸器有害性	:有効なデータはありません。
発がん性	:IARC(国際がん研究機関)の発ガン物質(グループ 1,2A,2B)に分類されている物質を処方構成成分として添加していません。

12. 環境影響情報

生態毒性	:環境への影響について、有効なデータはありません。
残留性・分解性	:環境への影響について、有効なデータはありません。
生体蓄積性	:環境への影響について、有効なデータはありません。
土壌中の移動性	:環境への影響について、有効なデータはありません。

13. 廃棄上の注意

廃棄するときは、適用法令、および製品特性に従い、適切な処理および廃棄施設に内容物/容器を廃棄すること。
外部に委託する場合は、内容を明確にしたうえで、産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。
内容物が外部へ流出しないように容器を密閉してください。
廃棄される場合には、「廃油(引火性)」であることを明記して、関係する法令、条例に従ってください。

14. 輸送上の注意

国際規制	:該当しません。
国連番号	:該当しません。
品名(国連輸送名)	:該当しません。
国連分類	:該当しません。
容器等級	:該当しません。
海洋汚染物質	:該当しません。
その他	:消防法の第一類および第六類の危険物および高圧ガス(一部除く)とは混載できません。 消防法の危険物危険等級 III 適応する運搬容器に収納して運搬してください。指定数量(4000L)以上の製品を車両で運搬する場合は、当該車両に定められた標識を掲げ、適正な消火器を備えてください。

15. 適用法令

消防法	:危険物第四類第三石油類(水溶性液体)(危険等級Ⅲ)
労働安全衛生法　通知対象物	:銅及びその化合物(379)を含有します。
化学物質排出把握管理促進法(9)	:該当しません。
その他	:該当しません。

16. その他の情報

＜用語の説明＞

(1)化審法:化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律

(2)安衛法:労働安全衛生法

(3)CAS No.:Chemical Abstract Service Registry Number

(4)ACGIH TLV:American Conference of Governmental Industrial Hygienists(米国産業衛生専門家会議)で定めた Threshold Limit Value(許容濃度)

(5)OSHA PEL:Occupational Safety and Health Administration(米国労働安全衛生局)で定めた Permissible Exposure Limit(許容暴露限度)

(6)労働省の有害基準:労働省通達基発第 395 号(H 4－7－1)化学物質などの危険有害性試験基準及び化学物質などの危険有害性評価基準

有害基準として:経口毒性　:(LD 50)　500 mg/kg以下
吸入毒性　:(LD 50)　20 mg/L以下
皮膚刺激性　:紅斑　2 以上(平均)
浮腫　2 以上(平均)
眼刺激性　:角膜　2 以上(平均)　虹彩 1 以上(平均)
結膜発赤　2.5 以上(平均)
結膜水腫　2 以上(平均)
皮膚感作性　:30%以上(アジュバンド有り)
変異原性　:労働省告示第 77 号　変異原性が認められその比活性が被験物質 1 mgあたり 1000 以上

(7)LD50:Lethal Dose 50　50%致死量

(8)LC50:Lethal Concentration 50　50%致死量

(9)化学物質排出把握管理促進法:特定化学物質の環境への排出量の把握等および管理の改善の促進に関する法律

EPSON
EXCEED YOUR VISION

製 品 安 全 デ ー タ シ ー ト

最新改訂版作成日:2013 年 8 月 17 日
ICGR68

＜引用文献＞

・労働安全衛生法 管理濃度
・日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告
・米国 産業衛生専門家会議(ACGIH),Threshold Limit Values for Chemical Substances and Physical Agents and Biological Exposure Indices
・世界保健機構(WHO)国際がん研究機関(IARC),IARC Monographs on the Evaluation on the Carcinogenic Risk of Chemicals to Humans

本文書の記載内容は、通常の条件下で製品のふさわしい使用に対して、弊社の見解を表したものです。さらに、記載されているデータは、弊社の最善の知見に基づくものですが、すべての化学品には、未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。特殊な取り扱いには、この点ご配慮をお願いいたします。